2016「岩手県山田町 5 年目の今 ！」　報告書

2016年 7月 16 日

報告項目: 7/3（日）の訪問地	報告者: 小原　茂 （ 016 ）

＜主な報告内容＞

1、山田町船越地区めぐり

浦辺さんの移転先周辺であり、特にカサ上げ住宅が印象に残った。
前回のツアーの際にあった船越小学校は、とりこわしてその住宅地に、建て直しされており景観が大きく変わっていた。

2、山田町のおみやげ

道の駅山田で各自「大量のおみやげ」を購入した。

3、大槌町は眼で見てわかる工事推進中

だるま会員で大槌町に出張中の渡辺さんの案内で、人の住めるまちづくりが納得できた。
町の一角に吉里吉里共和国があるので、もう少しゆっくり走行して欲しかった。
びっくりしたのは、ひょっこりひょうたん島のモデルになった島に歩いて渡ることができたことでした。大きな観光資源として生かしてほしいと思った。

4、釜石は鵜住居地区をゆっくり見学した。

（1）被災の年の 7 月にボランティアとして作業した家（河野さん宅）と「もぬけの空」になっていた薬王堂が確認できてよかった。（前回は確認できなかったので・・・）
（2）釜石の奇跡で有名な小学校、中学校がなくなり、高台に移転していて、津波を感じられなくなった景観は残念。何か感じさせる記念館をつくるような計画はあるのだろうか？
（3）昼食はプレハブの仮設食堂で、ちょっぴり淋しかった。（ビールは自前）

5、釜石鉱山記念館（高台）・釜石観音はオマケ

世界遺産になった現地には行けない日程なので、記念館に寄った。
釜石観音は車窓から見るだけ。
釜石駅でバスと別れ、pm 2:18 の釜石線に乗り、帰途へ。
案内役の浦辺さん、渡辺さんありがとうございました。
また会いましょう。

＜提言など＞

浦辺さんの敷地内に建てられた「だるま荘」は、まだ 5 人が寝られるバンガロー状態でしたが、被災地を巡る貴重な拠点になることでしょう。今回参加できなかった方々には、今回の反省を生かしたツアーが、近年中に企画されると思いますので、ぜひ参加をされるようおすすめします。